

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2007年2月9日号

目次

◎上海市、2006年農産物輸出額が1割増の27.6億ドル記録

【中国化工報 2007年01月31日】

◎天津市、昨年の貿易額が645億ドルに

【国際商報 2007年01月31日】

◎「流通分野食品安全管理弁法」を5月から施行、違反は罰金3万元

【経済日報 2007年01月31日】

◎中国とNZ、10回目のFTA協議終了

【国際商報 2007年02月06日】

◎国家税務総局らが土地使用税引き上げ策遵守を指示

【市場報(人民日報主辦) 2007年02月07日】

◎浙江省、昨年の農産物輸出入額は12%増の44.6億ドル

【国際商報 2007年02月07日】

◎上海市、2006年農産物輸出額が1割増の27.6億ドル記録

【中国化工報 2007年01月31日】

上海税関は先ごろ、2006年の全市農産物輸出額が前年比10.2%増の27億6000万ドルに達したと発表した。輸出の特徴として以下の点が挙げられている。

1. 一般貿易による輸出額は全体の83.8%に当たる前年比8.7%増の23億2000万ドル、加工貿易によるものは同9.8%増の3億8000万ドルを記録。
2. 外資系企業の輸出額は同6.9%増の11億3000万ドル、私営企業は同35.7%増の7億2000万ドル、国有企業は同0.3%減の8億ドルとなった。
3. 日本向けの輸出額は同1.7%増の9億ドル、EU向けは同16%増の4億2000万ドル、AS

EAN向けは同4.5%増の2億ドル、米国向けは同14.8%増の4億3000万ドルであった。
4. 製品別輸出額は野菜・果物が同22.1%増の2億3000万ドル、穀物を原料とする菓子などが同19%増の1億5000万ドル、家禽・家畜製品が同11%減の4億4000万ドル、水産物が同5.6%減の2億ドル、シルク製品が同11.6%減の1億7000万ドルとなっている。

◎天津市、昨年の貿易額が645億ドルに

【国際商報 2007年01月31日】

天津市税関は先ごろ、2006年(第11次5カ年計画初年度)の全市貿易額は2001年(第10次5カ年計画初年度)より463億3000万ドル増の645億2000万ドルを記録し、輸出額、輸入額いずれも300億ドルを超えたことを明らかにした。過去5年間、同市は製品品質向上、新市場開拓、技術改革などにより対外貿易成長を促進。2006年の全市機械・電気製品の輸出額は輸出全体の70%に相当する234億7000万ドル、ハイテク製品の輸出額は同46%相当の154億4000万ドルに達している。電子製品、自動車部品、新エネルギー、バイオ医薬品などの製品の輸出額も多い。また、2006年の加工貿易による輸出額は2001年より125%増の214億ドルを記録。外資系企業の輸出額は全体の80%相当する268億3000万ドル、民営企業の輸出額は2001年より1100%増の26億9000万ドルに上った。全市の輸出業者は2001年の3000社から2006年には6000社に増加している。

◎「流通分野食品安全管理弁法」を5月から施行、違反は罰金3万元

【経済日報 2007年01月31日】

商務部は先ごろ「流通分野食品安全管理弁法」を公布、5月1日から施行される。同法に違反した場合、最高3万元の罰金が科される。食品の安全性を確保するための管理制度を設けることが同法の中心となっている。同法に定める主な管理制度は以下のとおり。

1 契約制度

市場(取引市場、スーパーマーケットなどの小売業者と卸売業者)と食品の販売代理業者は食品安全保障協定を取り交わすこと。

2 販売代理業者管理制度

市場は販売業者の連絡先、販売する製品、信用等級などの基本情報を記録し、販売業者の撤退後も2年間保存しなければならない。

3 販売免許提示制度

市場は食品サプライヤーの食品安全証明などの営業免許を提示させ、そのコピーを保存する。

4 購入・販売情報制度

市場、または販売代理業者は食品の生産者、名称、生産地、品質等級などを記録、卸売業者は製品の購入者、連絡先、購入日時などを記録する。

5 不合格食品回収制度

市場は品質管理部門が発表した不合格食品の販売を速やかに停止する。

◎中国とNZ、10回目のFTA協議終了

【国際商報 2007年02月06日】

商務部は5日、中国とニュージーランドは1月29日から2月3日、北京市にて両国自由貿易協定(FTA)締結を目指す第10回協議を行ったことを明らかにした。6日間にわたる協議では、貨物貿易、サービス貿易、投資、知的財産権、原産地ルール、動植物の検疫などについて突っ込んだ話し合いを行い、広範な意見の一致を見た。中国側からは商務部、外交部、国家発展改革委員会、教育部、財政部、農業部、海関総署(税関に相当)、国家質量監督検験検疫総局(製品品質を管理。国家質検総局)、国家外貨管理局らの担当者が協議に参加した。第11回協議は4月にニュージーランドで行われる予定。ニュージーランドとのFTA協議は中国が初めて先進国との間で行うもの。温家宝総理が2006年4月にニュージーランドを訪問した際、両国首脳は1～2年以内に協議を終え協定締結を目指していくことで合意している。

◎国家税務総局らが土地使用税引き上げ策遵守を指示

【市場報(人民日報主筆) 2007年02月07日】

国家税務総局、財政部は5日、1月1日から引き上げられている土地使用税基準を厳格に実施するよう指示する通知を各地の税務部門に出した。国務院(内閣に相当)は2006年12月31日に「土地使用税暫定条例改正に関する決定」を公布、2007年1月1日から都市、農村における1平米あたりの土地使用税を2倍に引き上げると共に、外資系企業も初めて徴税対象とすることを定めている。国家税務総局、財政部が5日に発表した通知は、国務院の「決定」を遵守するよう各地に指示するもので、地方の税務部門は地元の状況を調査し速やかに税率引き上げ計画を報告するよう求めている。外資系企業にも土地使用税を課すことについて、地元の外資系企業数、敷地面積などを正確に把握しデータベース化するよう指示している。

◎浙江省、昨年の農産物輸出入額は12%増の44.6億ドル

【国際商報 2007年02月07日】

浙江省は先ごろ、2006年の同省農産物輸出入額は、全国の8.6%に当たる前年比9.6%増の26億8600万ドル、輸入額は同17.9%増の17億7500万ドル、輸出入合計額は同12.7%増の44億6100万ドルを記録したと発表した。輸出入額は7年連続で全国3位であるが、1位(山東省)、2位(広東省)との差は拡大している一方、浙江省のオレンジ缶詰、茶葉、羽毛の輸出入額はいずれも全国一となっている。

また、広西チワン族自治区も先ごろ、ロジン(松やにを蒸留して得られる樹脂)、ダイウイキョウ(トウシキミ:香辛料)、シナモンの2002～2006年の輸出入量は70万6000トン、輸出入額は4億9000万ドルと好調であることを明らかにした。内訳はロジンとその加工製品が64万8000トン・4億4000万ドル、ダイウイキョウが8000トン・1077万8000ドル、シナモンが5万ト・3631万7000

ドルとなっている。また、1トン当たりの輸出価格は、ロジンが2002年の440ドルから2006年の987ドルに、シナモンが528ドルから882ドルへと上昇している。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。